

お買い上げいただきありがとうございます。ご使用の前にこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
この説明書は、必ず保管してください。

安全上のご注意

安全にお使いいただくための注意事項を説明しています。必ずお守りください。
なお、有資格者以外の電気工事は法律で禁止されています。

	警告	死亡または重傷を招くおそれがある危険な状況を示します。
	注意	軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況および物的損害の発生するおそれがある場合を示します。

お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。

- 注意する
- してはいけない
- 必ず守る

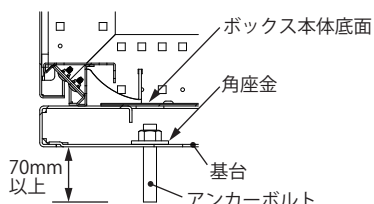
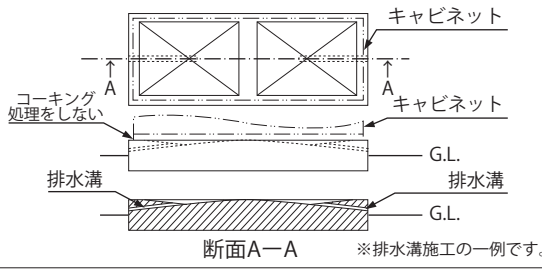
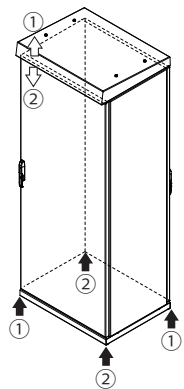
■吊上げ時および搬送時のご注意

警告			
	本製品を吊上げる場合には、必ず4カ所で吊上げ、天板の水平面に対して45°以上の角度で均一な荷重にしてください。 2カ所での吊上げや45°未満の吊上げ角度、吊上げ荷重オーバーは落下・破損・けがの原因になります。 吊上げ可能質量：900kg（製品質量を含む） 製品質量はカタログをご参照ください。		
	本製品を連結した状態で吊上げ作業は行わないでください。 変形・落下・けがの原因になります。	本製品をワイヤーなどで荷台に固定する場合は、扉に直接荷重がかかる方向において、荷締器具による締めすぎにご注意ください。締め過ぎにより蝶番が破壊し、扉の転倒・けがの原因になります。	

■施工上のご注意

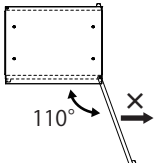
<

⚠ 注意

❗	キャビネット奥行きが浅いものや高さの高いものは、所定のアンカーボルト以外にも必要に応じ転倒防止の処置を行ってください。機器の取付位置、質量等により地震時に転倒するおそれがあります。 内部に雨水などが溜まるのを防ぐため、下図のような排水溝を設けてください。 排水溝の流出口には金網を張るなどして小動物の侵入を防止してください。	❗ 基台は、耐震対策のため、必ず角座金などにより補強し、M16のアンカーボルトによって固定してください。 								
⊘	コンクリート基礎と基台の間のコーキング処理をしないと、キャビネット内部に雨水などが溜まり、結露や錆の原因となるのでコーキング処理はしないでください。 	⚠ <table border="1" data-bbox="901 403 1484 459"> <thead> <tr> <th>アンカーボルト径</th><th>最小埋込深さL ※1</th><th>短期許容引抜荷重 ※1</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>M16</td><td>70mm</td><td>9.2kN</td></tr> </tbody> </table> ※1 一般的な床スラブ上面でのあと施工金属拡張アンカーボルト（おねじ形）使用時における参考値です。 設置場所、アンカーボルト種類によって値は大きく変わります。 アンカーボルト固定前に扉を開ける際は、前倒防止の処置をしてから扉を開けてください。扉を開けると前倒れし、けがの原因になります。 アンクルなどを使って設置面を上げる際は、下側からキャビネット内部に水が浸入するおそれがあります。	アンカーボルト径	最小埋込深さL ※1	短期許容引抜荷重 ※1	M16	70mm	9.2kN		
アンカーボルト径	最小埋込深さL ※1	短期許容引抜荷重 ※1								
M16	70mm	9.2kN								
❗	床面が平行でなく扉にひずみが生じた場合はスペーサーなどにより接地面が平行になるように調整してください。 調整方法 ドアが↑①の方向にひずんだ時は、 ↑①のヵ所のどちらか一方にスペーサなどを入れてください。 ドアが↑②の方向にひずんだ時は、 ↑②のヵ所のどちらか一方にスペーサなどを入れてください。 【オプションパーツのご案内】 スペーサには、オプションの「基台用スペーサ」をご利用ください。 <table border="1" data-bbox="231 1019 829 1131"> <thead> <tr> <th>名称</th><th>品名記号</th><th>摘要</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">基台用 スペーサ</td><td>BP17-10SU</td><td>U 字（アンカーボルト用、t1.0）</td></tr> <tr> <td>BP17-1030S</td><td>50mm 角（t3.0）</td></tr> </tbody> </table>	名称	品名記号	摘要	基台用 スペーサ	BP17-10SU	U 字（アンカーボルト用、t1.0）	BP17-1030S	50mm 角（t3.0）	
名称	品名記号	摘要								
基台用 スペーサ	BP17-10SU	U 字（アンカーボルト用、t1.0）								
	BP17-1030S	50mm 角（t3.0）								

■使用上のご注意

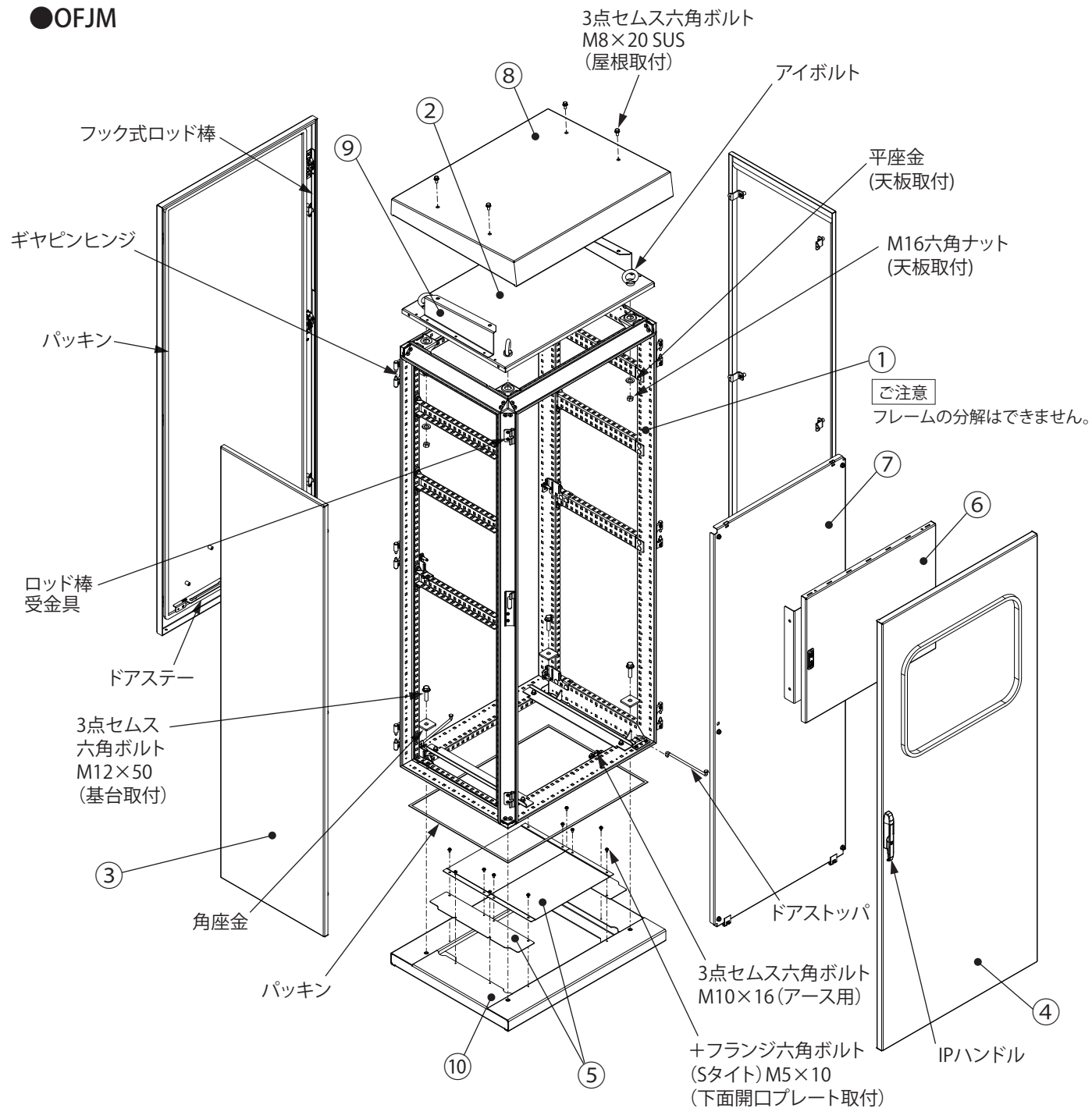
⚠ 注意

⊘	屋根、天井面への局所的な荷重を避けてください。変形の原因になります。 落下などの強い衝撃を与えないでください。衝撃によりヘコミやひずみが発生し、強度の低下の原因になります。 高温・高湿、腐食性ガスなどの雰囲気での使用は避けてください。錆や腐食が発生します。 搭載可能質量を超える物を取付けないでください。転倒・性能の劣化・破損・けがの原因になります。 <table border="1" data-bbox="319 1518 619 1608"> <tr> <th colspan="2">搭載可能質量</th></tr> <tr> <td>耐荷重性能</td><td>耐震性能 ※2</td></tr> <tr> <td>1000kg</td><td>500kg</td></tr> </table> ※2 耐震性能は弊社搭載条件により評価を行っています。 IP 性能を保つため、ギャビンヒンジ・ロッド棒受金具は外したままにしないでください。 扉の開閉角度は約 110°です。 扉を開けた状態で右図の矢印方向にさらに荷重を掛けしないでください。 蝶番部および扉の変形・破損の原因になります。 	搭載可能質量		耐荷重性能	耐震性能 ※2	1000kg	500kg
搭載可能質量							
耐荷重性能	耐震性能 ※2						
1000kg	500kg						

❗	穴加工した部分は、突起やバリをヤスリなどで確実に除去し、タッチアップペイント（弊社型番：BP81）などで補正を行ってください。錆が発生するおそれがあります。また、穴加工した場合に取付けるパーツは IP 性能に合致したものを使用し、保護等級に応じた処置を行ってください。IP 性能の保持ができなくなるおそれがあります。
---	---

❗	各種取付ねじは下表の適正締付トルク値を守り正しく締付けてください。 締付けが不十分の場合、落下・破損の原因となります。 また締付け過ぎの場合は、ねじやタップを破損するおそれがあります。 キャビネット設置時は必ず下表の適正締付トルク値にて各種取付ねじを締直してください。締付け忘れにより屋根・側板などが落下してけがをするおそれがあります。 <table border="1" data-bbox="995 1478 1362 1744"> <tr> <th>ねじの呼び</th><th>適正締付トルク N・m ※3</th></tr> <tr><td>M3</td><td>0.4~0.5</td></tr> <tr><td>M4</td><td>0.5~1.0</td></tr> <tr><td>M5</td><td>1.8~2.9</td></tr> <tr><td>M6</td><td>2.9~4.4</td></tr> <tr><td>M8</td><td>7.8~13.7</td></tr> <tr><td>M10</td><td>14.7~24.5</td></tr> <tr><td>M12</td><td>33.6~50.4</td></tr> <tr><td>M16</td><td>50.0~59.8</td></tr> </table> ※3 但し、Sタイプねじにおいて締付けの時の初期値はこの限りではありません。 キャビネット設置後は、定期的にねじの増締めを行ってください。ねじのゆるみにより側板などが落下してけがをするおそれがあります。 キャビネット下部の下面開口プレートは、下部出入線口カバーのため強度がありません。荷重は、基台またはフレームで直接受けるようにしてください。下面開口プレートに荷重が掛かると、下面開口プレートが変形し、機器の故障やけがの原因となるおそれがあります。 重量物は低い位置に設置し、重心位置を低くしてください。また扉部ではできるだけ蝶番側に設置してください。キャビネットが転倒・変形し、けがをするおそれがあります。	ねじの呼び	適正締付トルク N・m ※3	M3	0.4~0.5	M4	0.5~1.0	M5	1.8~2.9	M6	2.9~4.4	M8	7.8~13.7	M10	14.7~24.5	M12	33.6~50.4	M16	50.0~59.8
ねじの呼び	適正締付トルク N・m ※3																		
M3	0.4~0.5																		
M4	0.5~1.0																		
M5	1.8~2.9																		
M6	2.9~4.4																		
M8	7.8~13.7																		
M10	14.7~24.5																		
M12	33.6~50.4																		
M16	50.0~59.8																		

■仕様
●OFJM



(単位：mm)

番号	部 品 名	材 質	板厚
①	フレーム	鋼板・塗装	t2.0
②	天 板		t2.3
③	側 板		t2.3
④	扉(窓付※1)		t2.3
⑤	下面開口プレート		t1.6
⑥	メーターパネル		t2.3
⑦	鉄製基板		t2.3
⑧	屋 根	ステンレス・塗装	t2.3
⑨	屋根取付金具		t2.3
⑩	基 台※2		t3.0

※1 窓部の網入りガラスは t6.8 mm

※2 ヨコ寸法 1000mm は t4.0 mm

●付属品

付属品名	姿 図	用 途	数 量
3点セムス六角ボルト M8×20 SUS		屋根取付	4 コ
キー (キーNo.N200)		扉の施錠	1 コ
取扱説明書(本紙)	—	—	1 部

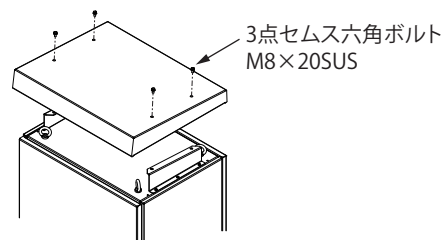
■屋根の取付けについて

⚠ 注意

	屋根は重量物です。けが防止のため、1人で着脱作業を行わないでください。		天井面への局所的な荷重を避けてください。変形の原因になります。
--	-------------------------------------	--	---------------------------------

【屋根の取付方法】

本品は屋根が別梱包です。
キャビネット設置後に付属品を使用し、右図のように取付けてください。

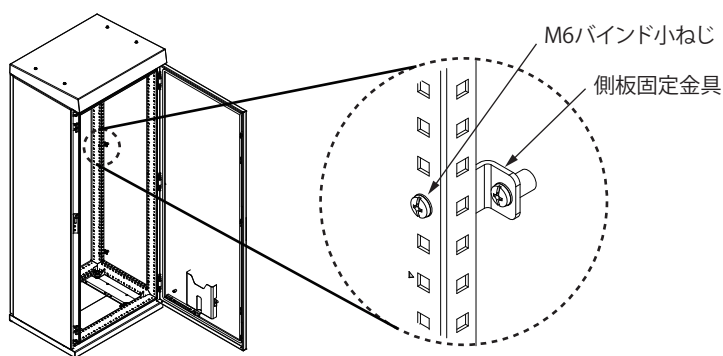


■側板の取外しについて

⚠ 注意

	側板は重量物です。けが防止のため、1人で着脱作業を行わないでください。
--	-------------------------------------

側板は下図のM6ねじを取外すことで外れます。



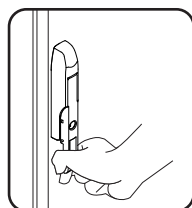
■ハンドルの開閉について

⚠ 注意

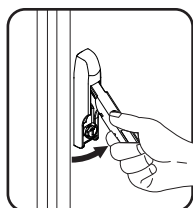
	ハンドルの取手を握ったまま勢いよく閉めないでください。指を挟み、けがの原因となりますので、慎重に閉めてください。		シリンダー施錠位置あるいは解錠位置以外では、キーを無理に引抜かないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。
	ハンドルのシリンダーにキーを差した状態で、キーに強い衝撃や荷重を掛けないでください。キーの変形・破損の原因になります。		ハンドルの施錠・解錠する頻度が多い場合は、シリンダーに定期的に鍵用潤滑剤を塗布してください。キーの抜き差しが硬くなるおそれがあります。

【ハンドルの開閉方法】

開け方

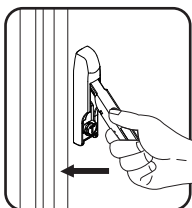


(1) 取手下側のレバーを引きます。

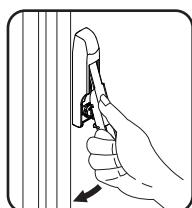


(2) 取手下部のレバーを引きながら取手を引き扉を開けてください。

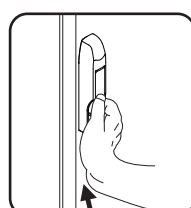
閉め方



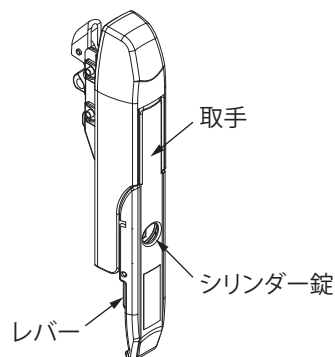
(1) 取手を持ちます。
※この時取手は上へ完全に上がった状態のこと。



(2) 扉を押えながら取手を閉めます。



(3) 手のひら全体で取手を押し扉を閉めてください。



IPハンドル詳細

■扉の取外しについて

⚠ 注意



扉は重量物です。けが防止のため、1人で着脱作業を行わないでください。



扉側の蝶番とギヤピンヒンジの軸が合わない状態で、無理にねじ部を回さないでください。ギヤピンヒンジが破損するおそれがあります。

- (1) 扉の開角度を約 60°に保ち、ドアストッパをフレームから外します。(図 1)
- (2) 扉の開角度を約 90°に保ち、ギヤピンヒンジのねじ部を矢印の方向にドライバーで回し、蝶番ピンのはめ合いを外します。(図 2)
- (3) 扉の開角度を約 90°に保持したまま、扉を蝶番から矢印の方向に外します。(図 3)

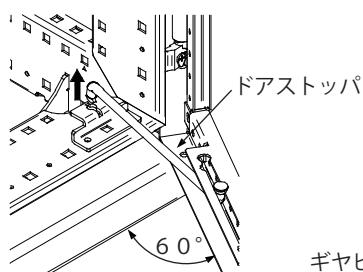


図 1 ドアストッパの外し方

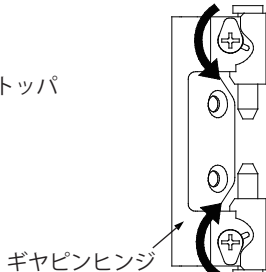


図 2 蝶番ピンの外し方

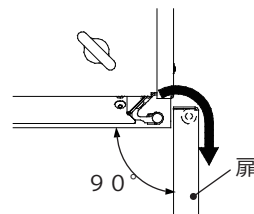


図 3 扉の外し方

■扉の取付けについて

- ・扉の取付け時、ギヤピンヒンジは扉の中央部より取付けてください。ギヤピンヒンジねじ部を矢印方向に回し、確実に固定してください。(図 4、5)
- ・図 5 に表記されている順番に蝶番ピンをはめ合わせると、容易に扉を取付けることができます。

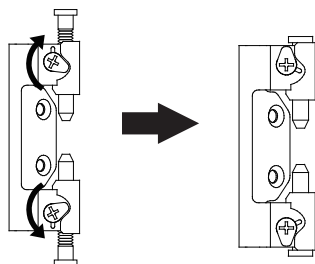


図 4 蝶番ピンの固定のし方

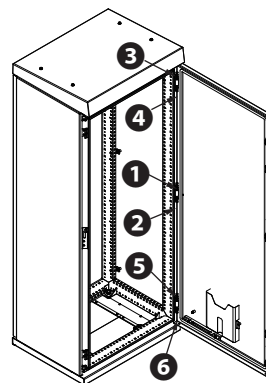


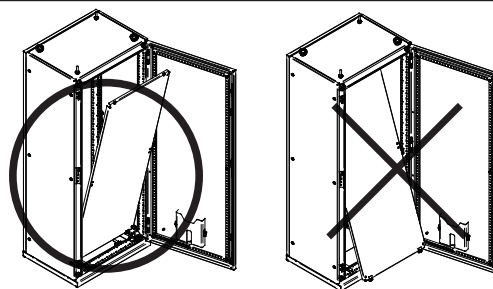
図 5 ギヤピンヒンジのはめ合わせ順序

■鉄製基板の取外しについて

⚠ 警告



鉄製基板を外される時は、右図のように上部を手前に引いて引出してください。鉄製基板の下部が手前になりますと飛出してくることがあり、非常に危険です。

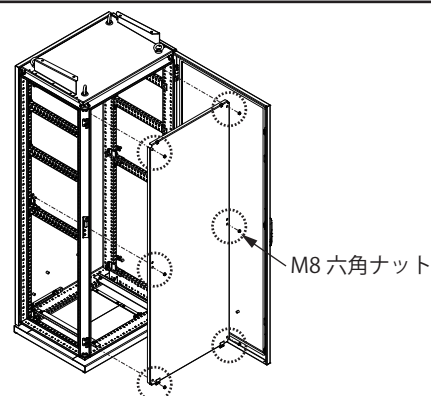


⚠ 注意



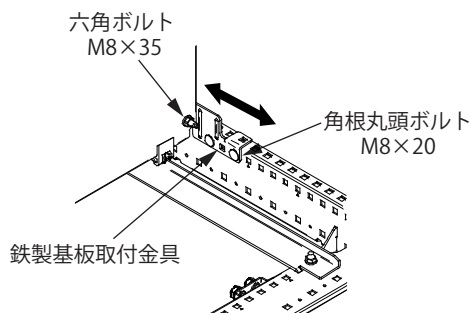
鉄製基板は重量物です。けが防止のため、1人で作業は行わないでください。

- ・鉄製基板は M8 六角ナットを外すとフレームから取外すことができます。



■鉄製基板の前後移動について

- 鉄製基板を取付けている鉄製基板取付金具（上、中、下各 2 個）のねじ（角根丸頭ボルト M8×20・12 個）を取外しますと、鉄製基板の前後移動が 25mm ピッチで可能です。
- 鉄製基板の動きが悪い場合は鉄製基板を固定をしているねじ（六角ボルト M8×35・6 個）をゆるめて移動を行ってください。



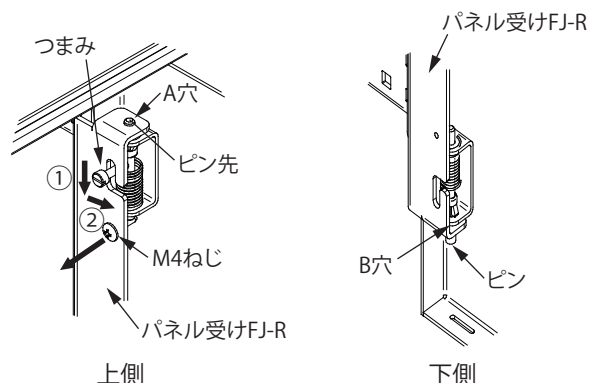
■メーターパネルについて

【メーターパネルの取外し方法】

- M4ねじを取外します。
(M4ねじを取らないとつまみは下がりません。)
- メーターパネルを下から支えながら持ち、上側からのピンのつまみを①方向に下げ、②方向にずらしパネル受けFJ-RのA穴からピン先を外します。
- メーターパネルを上を持ち上げ、下側のピンをパネル受けFJ-RのB穴から外してください。

【ご注意】

本体を横に寝かせて取外す場合も、メーターパネルを支えながら同様の方法で行ってください。

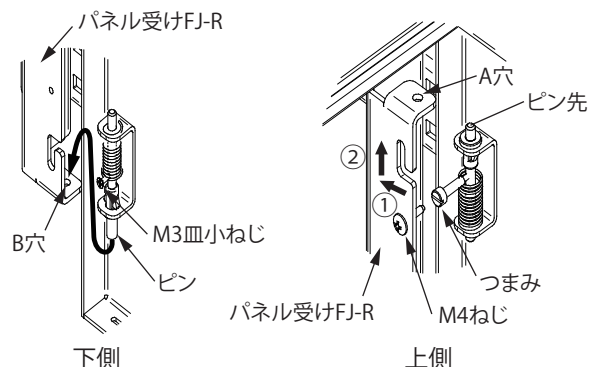


【メーターパネルの取付け方法】

- 下側のピンをパネル受けFJ-RのB穴に差し込んだ後、上側のピンのつまみを①方向にずらし②方向に上げると同時にピン先をパネル受けFJ-RのA穴に入れます。
- M4ねじを取付けてください。

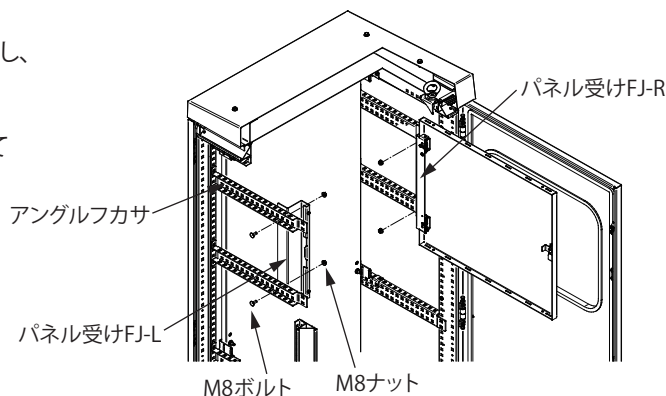
【ご注意】

つまみと M3 皿小ねじを塗り替え等によりはずした場合は、組み立てる際に緩み防止剤を塗布してください。



【メーターパネルの深さ調節方法】

- パネル受けFJ-R、FJ-Lの上下のM8ボルト・ナットを4カ所取外し、調整したい深さに合わせます。
深さは25mmピッチで調節が可能です。
- アングルフカサの角穴に合わせ、M8ボルト・ナットを締直してください。



お問い合わせ先

ご不明点がありましたら弊社お客様相談センターにお問い合わせください。

TEL (0561) 64-0152

〈受付時間〉9:00～12:00、13:00～17:00(土・日・祝日は休み)

- お客様からご提供いただいた個人情報は、商品の修理やご相談への対応、および情報の提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、グループ各社と共同で利用させていただく場合があります。
- 個人情報はあらかじめ本人の同意を得ないで、第三者に提供することはいたしません。

本製品の故障や瑕疵により、当社の予見の有無を問わず生じた二次損害について、当社は一切の責任を負いかねます。仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。

2024年6月
B881311920
SK-060D

NITTO KOGYO

©NITTO KOGYO CORPORATION